

## 収納ボックス

特許 No. 5962448

発明者 渡邊廣人, 佐藤智洋, 水野雅規, 岩井道佳

[発明の属する技術分野]

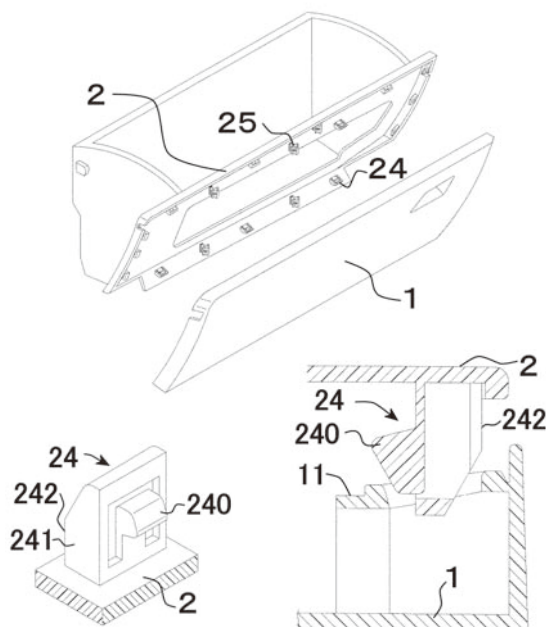
本発明は、クラブボックス、アッパーボックス、コンソールボックスなどの収納ボックスに関する。

[発明の概要]

アウターパネル1とインナーパネル2とは、複数の爪嵌合部により一体に結合され、位置決め爪嵌合部11、24と、脱不能爪嵌合部25とからなり、脱不能爪嵌合部25は、位置決め爪嵌合部11、24よりも中央部分側に設けられており、位置決め爪嵌合部11、24の爪部材は、膨出部を備える撓み変形可能な爪部240と、爪部に対して膨出部の膨出方向に背向した規制面241、242とを有する第一爪部材24であり、位置決め爪嵌合部11、24の係合凹部である第一係合凹部11に、第一爪部材24が挿入完了した状態において、爪部の膨出部は第一係合凹部11の周縁部に当接し、規制面241、242は第一係合凹部11の側壁に当接する。

[発明の効果]

本発明の収納ボックスによれば、アウターパネルとインナーパネルとを爪嵌合によって一体に結合しているため、組み付けがきわめて容易であり、アウターパネルとインナーパネルとが分離したり、隙間が生じたりするような不具合がない。



## オープニングトリムウエザストリップ

特許 No. 5696633

発明者 村松敬之, 岡本周平, 藤田権一

[発明の属する技術分野]

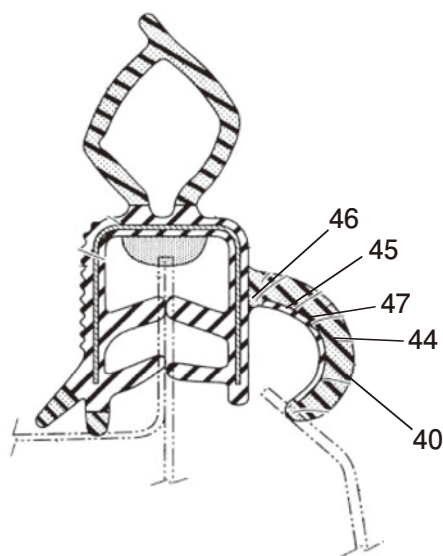
本発明は、自動車の車体開口部開閉部材と車体開口部周縁との間をシールするオープニングトリムウエザストリップに関する。

[発明の概要]

オープニングトリムウエザストリップのリップ部40は、湾曲した内面に薄層のソリッド材からなるリップ内側ソリッド部45が形成され、リップ内側ソリッド部以外の部分はスポンジ材で形成されたリップスポンジ部44を有し、リップ内側ソリッド部45にはリップ内側ソリッド分断部46又はリップ内側ソリッド薄層部47が複数形成されている。

[発明の効果]

ソリッド部とスポンジ部が同時に押出成形され、リップスポンジ部が膨張しリップ内側ソリッド部の伸びが少ないため、成形と同時に湾曲形状を形成でき、リップ内側ソリッド分断部又はリップ内側ソリッド薄層部により湾曲の度合いを調整することができる。



## 燃料タンクの開閉装置

特 許 No. 5907028

発明者 波賀野博之, 榎本健太郎, 大植剛

[発明の属する技術分野]

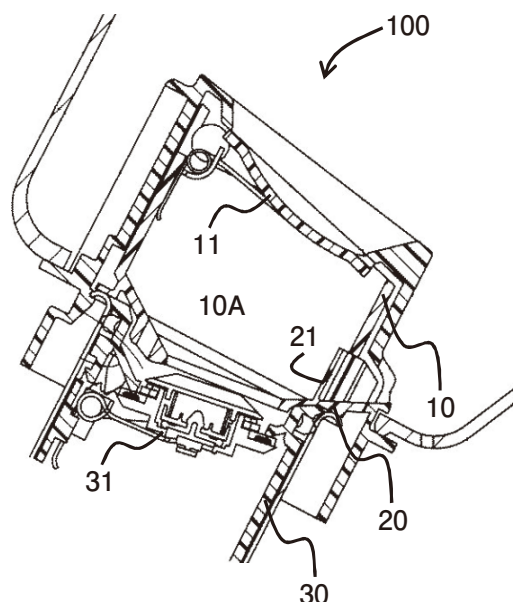
本発明は、燃料タンクへ給油するための燃料タンクの開閉装置に関する。

[発明の概要]

開閉装置 100 は、挿入口開閉部材 11 を有する挿入口形成部材 10 と、給油口開閉部材 31 を有する給油口形成部材 30 と、挿入口形成部材内部 10A と外部とを連通し、障壁部材 21 を有する排液路 20 とを備え、障壁部材 21 は開閉装置 100 の外部から挿入通路形成部材内部 10A が見えないよう配置されていることを特徴とする。

[発明の効果]

開閉装置の排液路に障壁部材を配置したことで、追加給油によって過剰に供給された燃料や、高压洗車で開閉装置内に侵入した水や雨水を排出する排液・排水機能と、外部のゴミや塵が開閉装置内に侵入することを抑制する機能とを両立することができる。



## エアバッグ装置

特 許 No. 5327158

発明者 堀田昌志, 佐藤祐司, 山村大輔, 柴山幸史

[発明の属する技術分野]

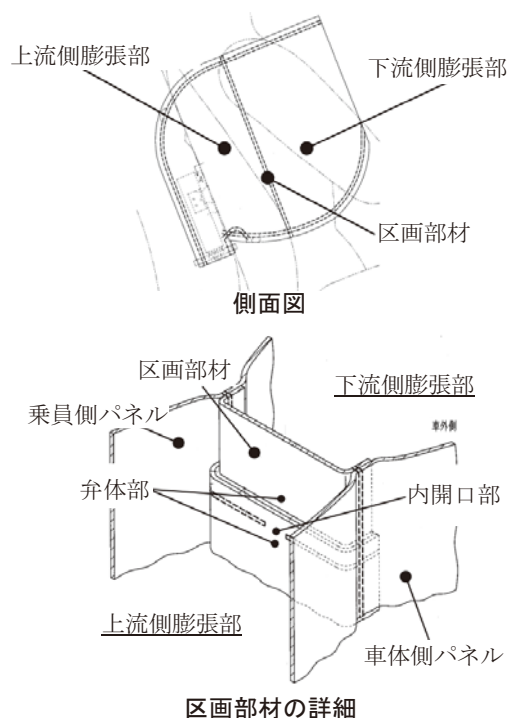
本発明は、シート側面に配置されるサイドエアバッグ装置に関する。

[発明の概要]

区画部材により上流側膨張部及び下流側膨張部に区画され、区画部材に形成されたスリット状の内開口部と、内開口部の周りに設けられ互いに接近及び離間する一対の弁体部を備えた、エアバッグ装置。

[発明の効果]

展開初期において、区画部材の内開口部が閉状態となりバッグ飛び出し量が少なくなることで（上流膨張部のみ膨張）、近接乗員への衝撃を緩和することができる。正規姿勢乗員においては、乗員がバッグと接触することで内開口部が開状態となり上流、下流膨張部の両膨張部が膨張し乗員を保護することができる。



### Ⅲ族窒化物半導体発光素子

特 許 No. 6010869

発明者 永田賢吾, 中村亮

[発明の属する技術分野]

本発明は、発光層にかかる応力の緩和を図ったⅢ族窒化物半導体発光素子に関する。

[発明の概要]

n層と発光層とp層を有するⅢ族窒化物半導体発光素子において、発光層が、井戸層と、Inを含有するAlGaInからなる障壁層を有し、障壁層のIn濃度が $6 \times 10^{19} \text{cm}^{-3}$ 以下であり、n層から発光層とp層との境界面にかけて形成されたピットを有し、発光層とn層の境界面におけるピット径(D1)が、120～200nmであり、発光層とp層の境界のピット径(D2)よりも小さい。

[発明の効果]

Inにより、発光層が平坦化し、In量が特定量よりも小さいためピットにより発光層にかかる応力を緩和することができ、発光効率が向上した。

